

御殿場高校 次期学習指導要領対応 社会に開かれた教育課程編成表

第 1 学年

科目名	公共	単位数	2	／	特別活動名
-----	----	-----	---	---	-------

			学習指導要領 大項目 学習指導要領 中項目 単元・行事名 ※1		A 公共の扉			B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参加する私たち							C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち		
					(1) 公共的な空間を作る私たち	(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方	(3) 公共的な空間における基本的原理	(1) 主として法に関わる事項			(2) 主として政治に関わる事項			(3) 主として経済に関わる事項			
					公共的な空間と人間との関わり	人間としての在り方生き方	民主主義・法の支配・自由と権利	法や規範の意義及び役割	契約と消費者の権利と責任	司法参加の意義	政治参加と地方自治	国家主権と領土	安全保障と防衛	雇用と労働問題		財政及び租税の役割	社会保障
大区分	中区分	科目・特別活動の視点	実施時期	4～5月			6月	9～7月	7月	9月	10月	11月	11月	12月	1月	2～3月	
御高として 育成を目指す 資質・能力	基本 の 力	習得力	教科書の文章や図表、グラフを正確に読み取り、情報を理解する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		自己管理能力	—														
		傾聴／受容力	他者の意見や主張を聞き、受け入れる力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	実行 力	計画力	—														
		行動力	—														
		協働力	課題解決に向け、グループワークに参画する力	◎		○	○				◎			○			○
		表現力	自らの考えを論拠に基づき主張する力		○			○	○			◎			○	◎	◎
	創造 力	発見力	学んだことを踏まえて、新たな疑問や課題を発見する力											○			○
		分析力	情報を取捨選択する力・活用する力							◎		○		◎			◎
		思考／判断力	論理的・多面的に考察する力			○	◎		◎	◎	◎		○			◎	◎
教科横断	横断する科目と学習項目＝経済のしくみ(商業系教科・数学科) 人間としての在り方・生き方(家庭科)				◎			◎									
幅広い視野 を持ち実施	地域社会の現状を考慮した学び	地域名と現状＝	静岡県：インバウンド 御殿場市：首都圏近郊										○				
	日本社会の現状を考慮した学び	現状＝	少子高齢化 変化の激しい社会												◎	○	
	世界の現状を考慮した学び	現状＝	「広い視野」で考え、「身の回り」から実践する								○	○	○				
地域や社会教育 と連携して実施	地域の物的資源を活用した学び	資源名＝	新聞記事・県や市の広報誌								○			○			
	地域の人的資源を活用した学び	資源名＝	市役所・新聞記者・社会保険労務士・行政機関					○					◎				
	社会教育と連携した学び	連携先＝	地域のボランティア 主権者教育								◎						

【基本的な考え方】

- ・「社会に開かれた教育課程」とは次期学習指導要領に通底する基本理念。社会と自校とのかかわりを捉え、育成を目指す資質・能力を明確にしたうえで、社会とのつながりを考えた教育課程を編成し、社会と共有・連携する。
- ・特別活動においても、育成したい資質・能力の視点で特別活動を捉えなおす必要がある。教科・科目との往還も踏まえて特別活動をデザインする。

【記入上の注意】

- ・1つの科目(1つの特別活動)で全ての資質・能力が育成されるとは限らない(空欄可)。学年全体で結合した時に網羅できるようにする。※「幅広い視野3項目」「地域や社会と連携3項目」も同様に空欄となる場合はある。
- ・特別活動の場合は出来る限り【事前指導】【中心的活動】【事後指導】を分けて記入し、それぞれの段階で育成を目指す資質・能力を明確にする。
- ・教科や分掌で指導特性を検討し、いくつかの資質・能力をまとめることも可能。 ※ただし、集計上、セルの結合は行わず「科目・特別活動」の視点の欄に分かるように記入し、○◎は両方のセルに記入する。
- ・※1：学習指導要領には単元名の記載がないので省略可(教科書には単元名はあるが、県教委に教育課程表を提出する段階では教科書は完成していない)